

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【公開番号】特開 2004-139081 (P2004-139081A)  
 【公開日】平成 16 年 5 月 13 日 (2004.5.13)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-018  
 【出願番号】特願 2003-355285 (P2003-355285)  
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 9 G 3/02

H 0 1 S 3/00

H 0 1 S 3/16

【F I】

G 0 9 G 3/02 A

H 0 1 S 3/00 A

H 0 1 S 3/16

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 2 月 4 日 (2004.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

図 2 は、図 1 に示す装置の表示画面 9 0 上のレーザビーム経路 1 0 0 を示したものである。結合レーザからの光が、表示画面 9 0 の左上隅から右上隅まで水平に走査されている。図の水平方向の実線矢印は、光ビームのこの移動を示したものである。光ビームは、次に、次の表示ラインを生成するように、ガルバノミラー 6 0 の作用によって垂直方向に下側に変位して元の水平位置にリセットされる。このリセットの間、光ビームは、有機レーザデバイス 1 a、1 b および 1 c への電流を直接小さくすることによってターンオフされている。このようにして水平走査が継続され、観察者 5 のための画像が表示画面 9 0 に構築される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 9】

【図 1】本発明の一実施形態によるディスプレイシステムの略図である。

【図 2】図 1 に示すディスプレイシステムの表示画面上への混合カラー光のラスト走査を示す図である。

【図 3】本発明の他の実施形態によるディスプレイシステムの略図である。

【図 4】導波路構造を使用した、本発明の他の実施形態による代替ディスプレイシステムの略図である。

【図 5】線形レーザアレイの略図である。

【図 6】他の線形レーザアレイの略図である。

【図 7】図 1 および図 6 に示す、レーザアレイの一部であるレーザ光源の略図である。

【図 8】レーザ光源の代替設計を示す略図である。

【図 9】基板を備えた複合レンズ拡散光エレメント 9 5 を示す図である。

【図 1 0 a】基板を備えた拡散光エレメント 9 5 としての非対称重合体ビーズの上面図である。

【図 1 0 b】基板を備えた拡散光エレメント 9 5 としての非対称重合体ビーズの横断面図である。

【図 1 1】基板を備えた拡散光エレメント 9 5 としての湾曲表面を示す図である。

【図 1 2】表示画面に統合された複合レンズ拡散板の略図である。

【図 1 3】表示画面に粘着接着された複合レンズ拡散板の略図である。